



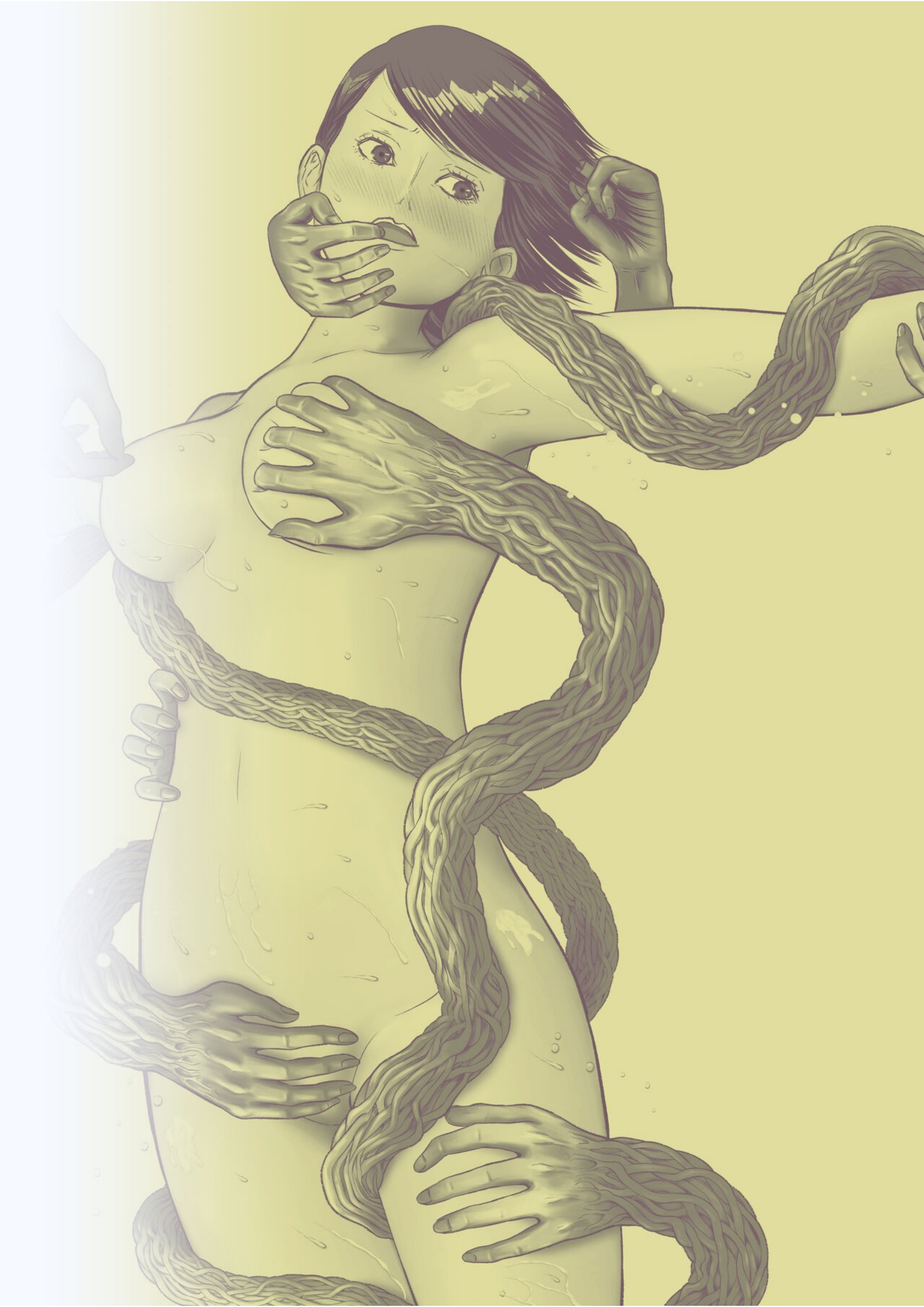
不幸の絡め手

不可教

団

体

written by 11 11





……調停が終わった
のもつい最近で……

うんうん

グス……

……結局子供も
できなかったし

私って昔から……
男運ないっていうか

もう何もかもね……
やになっちゃて……

うんうん



こんな事話せるのは
ユカリだけだし、
ここ数年顔も合わせて
なかったから……

うん……

うんうん、

薄子も色々
大変だったんだね。

アハ……

さち 幸
うすこ 薄子
(31歳)



ご、ごめんね、私ばかり

喋りっ
ばなしで

これからまた
再スタートだね。

いいよ、全然。

ふく
福 ユカリ
(31歳)

うん、
あとね…

少し不思議に
思ったんだけど…

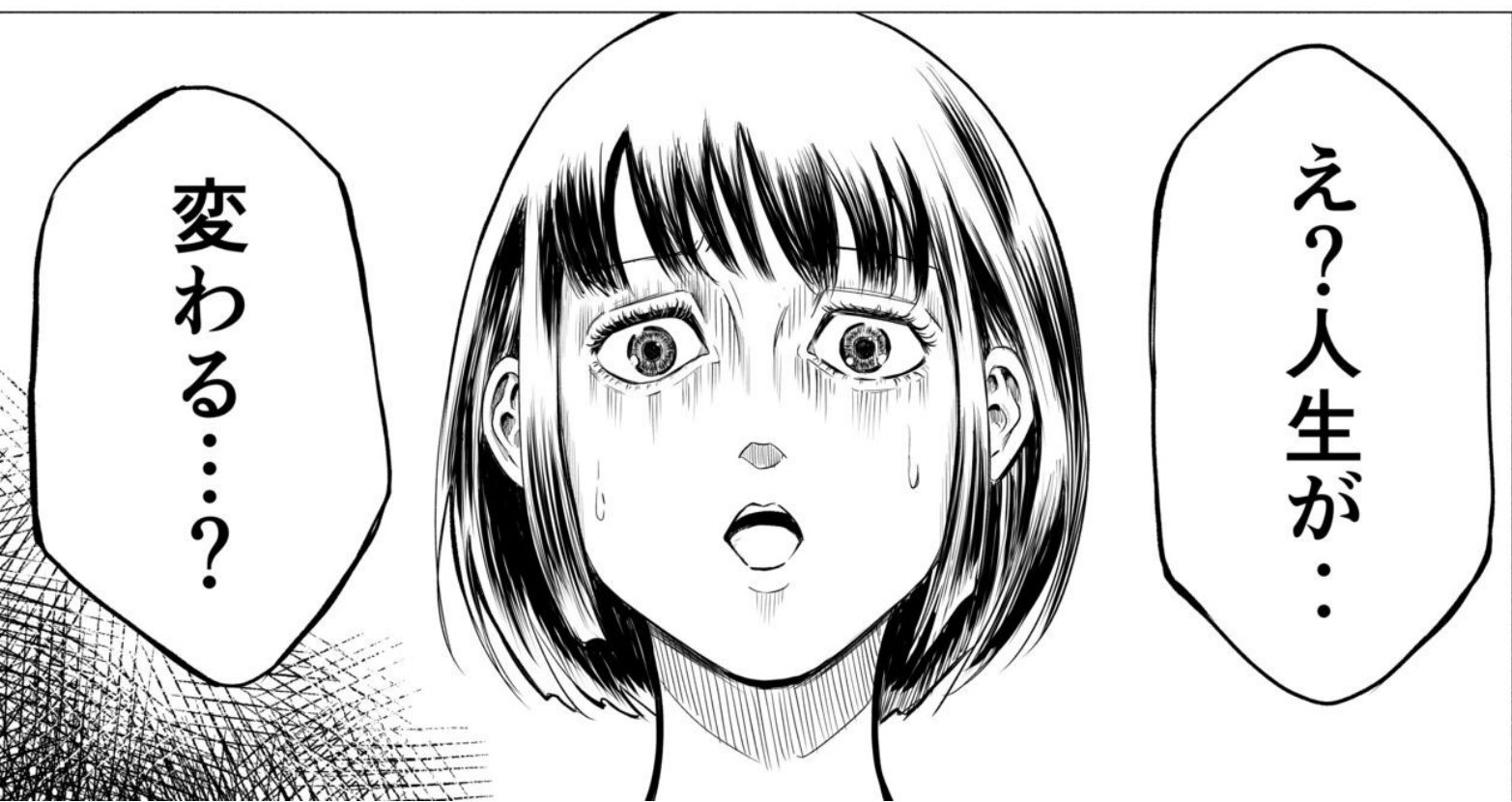
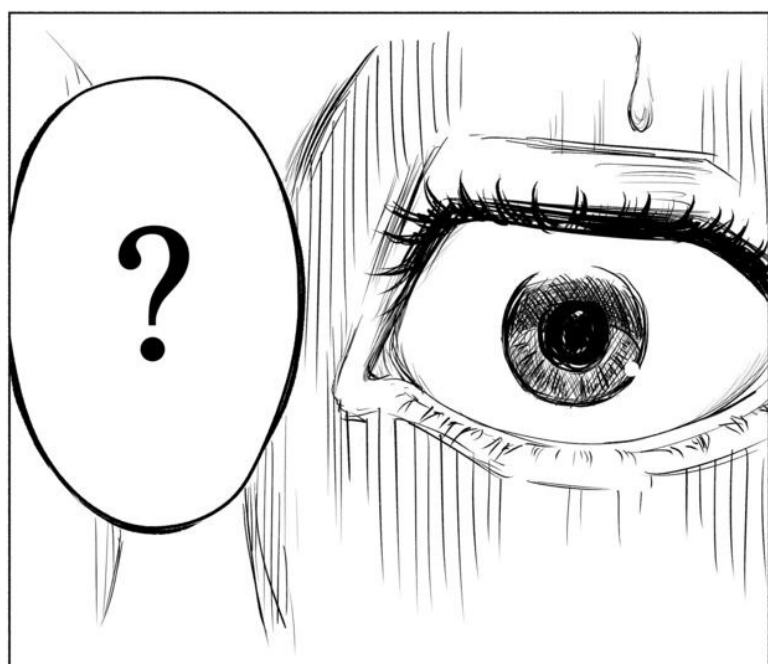
ユカリ私と
同じ年なのに、
全然昔より若く
見えるし、

なんか
輝いてるっ
ていうか…

何かあったの？

え？
うーん…

コト…



それから私はユカリに
連れられてとある場所
へとやって来ました。

宗教団体 珍宝教



え?! 宗教…

大丈夫
大丈夫!

全然心配する事
ないから!

恐る恐る足を踏み入れた
その施設には、私の心配が
拍子抜けするくらい

アットホームで
自然体の明るい
人々が数十人程
集まっていました。

あらー
ユカリちゃん、
久しぶり!

あれ、その子は
ひよっとして初めて
の子かしら?

そうなの、今日は
ちよっと体験に

あ、はい、よ、
宜しくお願
いします。

あらーそれは
素晴らしい事だわ

ぜひ楽しんで
いってね。

私もスういえは友達
紹介がきつかけだつたの
かれこれ五年前…

全くもって怪しさなどない、気のいい人達
に囲まれて、いつの間にか私はリラックスし
その和やかな雰囲気にも飲まれ、日々の陰鬱な
気持ちから解放されていきました。

それから私は時間を見つけては施設に通
い始めました。そこではまるで自分の居場所
ができたような安心感が得られたからです。
特に活動のような安心なものもなく、いつも信者
の方達とコミニケーションを楽しむだけの
団欒の場でありました。

あつという間に時間は過ぎ、三カ月が経と
うとしていた、そんなある日の事…

え!?ほんとに!?

ガッ

薄子!?
聞いた??

ガッ
ガッ

すごい!
信じられない!?

え?何、なんで
こんなにみんな
ざわついてるの?

ん

ガッ

お見えになられたのよ!
あの珍宝様が今しがた
この施設に!!

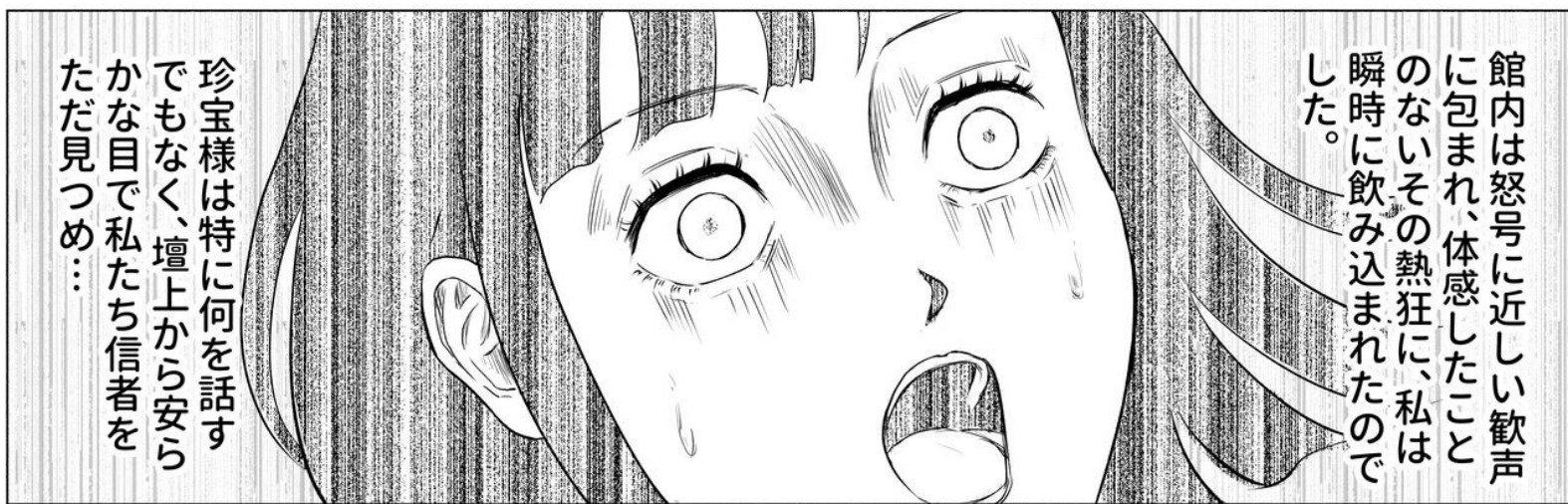
珍宝様、それはこの宗教
団体の創始者であり
教祖、名前と顔写真しか
公にされておらず、

皆様、静粛に。
珍宝様の
御入館です。

その人物像については憶測や
噂話が入り混じって、人智を
超えた存在、現人神あらひとがみと称されて
いたのでした。

うわああああ

!!!



館内は怒号に近い歓声に包まれ、体感したことのないその熱狂に、私は瞬時に飲み込まれたのでした。

珍宝様は特に何を話すでもなく、壇上から安らかな目で私たち信者をただ見つめ…



そして指を指し示されました。

私は黒服の方に連れられて、各館に用意されているという珍宝様用の個室へと案内されました。

ここに手荷物を置いて頂き、清めの御茶を飲んで扉の奥へどうぞ。

よく分からないけど、なんだか高そうな味だわ。

「^{みそぎ}禊」、それは教祖である珍宝様自らが、一信者に対して行う洗礼の儀式

珍宝様の神がかった霊力をもってして、洗礼者の穢れや罪や不幸を招く数多の要因を祓い清めて頂けるという。

そんな凄いことには選ばれるなんて、私でいいのかしら？ 私みたいな人間が幸運に見舞われるなんて…。

そしてそれを受けられる信者は稀であり、その選別要因も時期も不明、ただただ幸運の証であるのだと信者の間で語られていたのでした…。

は、初めまして！
わ、わたし…！

カァ

お待ちなさい、
何も仰ること無かれ。

ここにきて
御座りなさい。



え？

見えます、
見えますよ…。

テーブルがあるだけの
少し眩しいくらいに
真っ白いお部屋だ…。



珍宝様、間近で見ると
すごい存在感だわ…。

すごく高貴で
次元の違う存在感、
気圧される程の…。

パーン

…薄い、薄い、薄子、
そうあなたは薄子
さんですね。

え、なんで!!
すごい!

私の霊力を使えば
造作もないことです…。
見えます、見えますよ、
貴方の過去が…。

か、過去が？

…うんうん、大変な苦勞を
なさってきましたね…。





う、うん！
いいよ！
中に出してっ！

えっ？

薄子ちゃん！
中に出していい？



好き！

ゆう君
大好き！

男性に対する痛みが見えます…



ああああん！

うっ！！



好きな人ができたんだ。
ごめんね。

…えっ？！



実はさ…
別れて欲しいんだ。

…薄子ちゃん、
話があるんだけど

なあに？
ゆう君。



あなたはただ相手に尽くしてきたのに



カニヤン

いつまで経っても
まともな飯一つ
作れねえのか!

あうっ!

ごうごめんさいーまさしさん
今日は私も仕事が遅くて...

これは…暴力ですね…

口答えするんじゃないわねえって
何回言えば分かんたよ!

くふっ!

結婚生活も上手くいかなかった…

お前みたいなの
ダメな女はな!

旦那の性処理でしか
お役に立てねえ
クズ嫁なんだよ!!

あなた!
やめてっ!

薄子さん、貴方は…





たくさん辛い思いを
してきましたね…

うううううっ

すごい、ユカリにすら
恥ずかしくて打ち明け
られなかった事まで…



珍宝様！

この人は本物だ！



もう泣かないで
大丈夫ですよ薄子さん。

ううう！

ポン



私が今日ここで貴方に
不幸を呼び寄せる原因

貴方の中の穢れを取り
去って差し上げましょう。

それでは、まず…

グスン



そうです、
生まれたまま
の姿になり、
もう一度神に
愛され直すの
です。



え？服を？

ドキッ



まずはお召し物を御脱ぎ
ください。「褌」で心も体も
生まれ変わるのです。

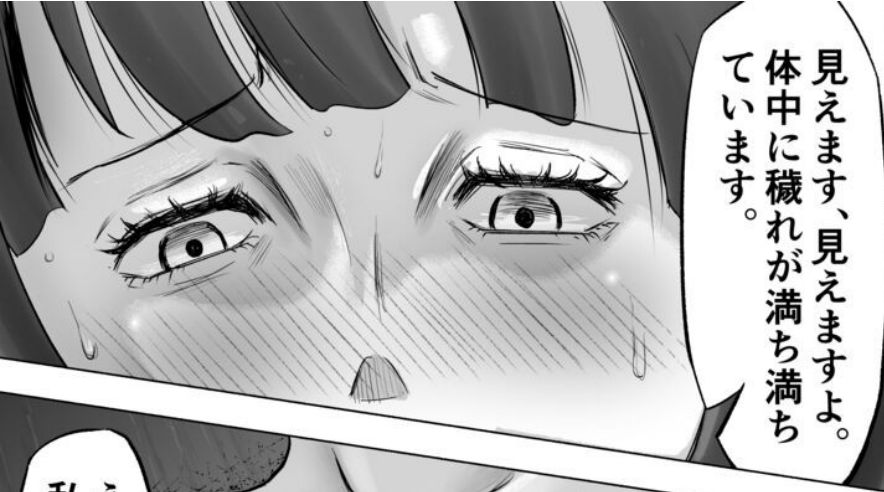


…は、はい。

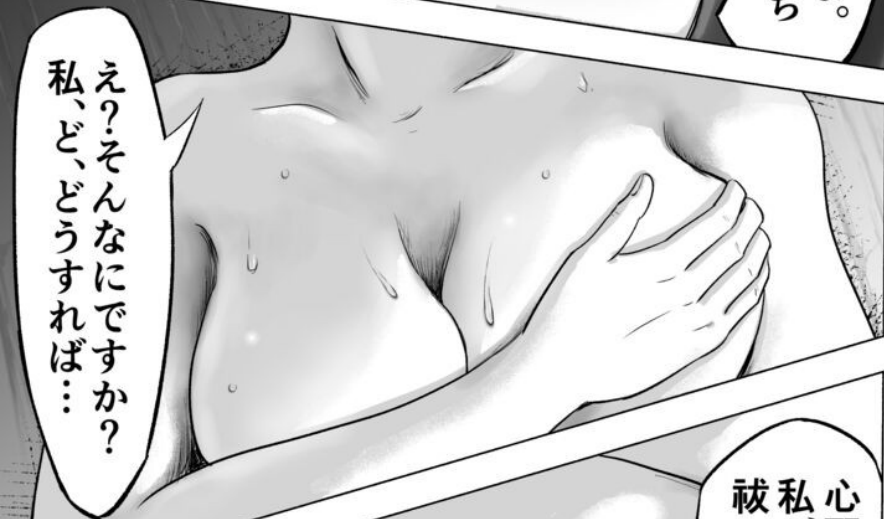
は、恥ずかしいけど、
珍宝様なら信じられる…

これで不幸な運命から
逃れられるなら…

さあ、この卓上に
横におなりなさい。



見えます、見えますよ。
体中に穢れが満ち満ち
ています。



え？そんなにですか？
私、ど、どうすれば…



心配は入りませんよ、
私が一つずつ全てを
祓い清めましょう。

は、はい、
お願いします。



あれ、なんだか頭が少し
ポロっとしてきた気が
する。体もなんだか少し
熱くなって…

…おや？



は、恥ずかしい！

珍宝様が私の穢れた
体を見つめてらっしゃる。

体が熱くなってきましたか？
無理ありませんね…。

私のような霊位の高い存在と
閉ざされた空間に居れば
その影響で気絶する人すら
いる程です。

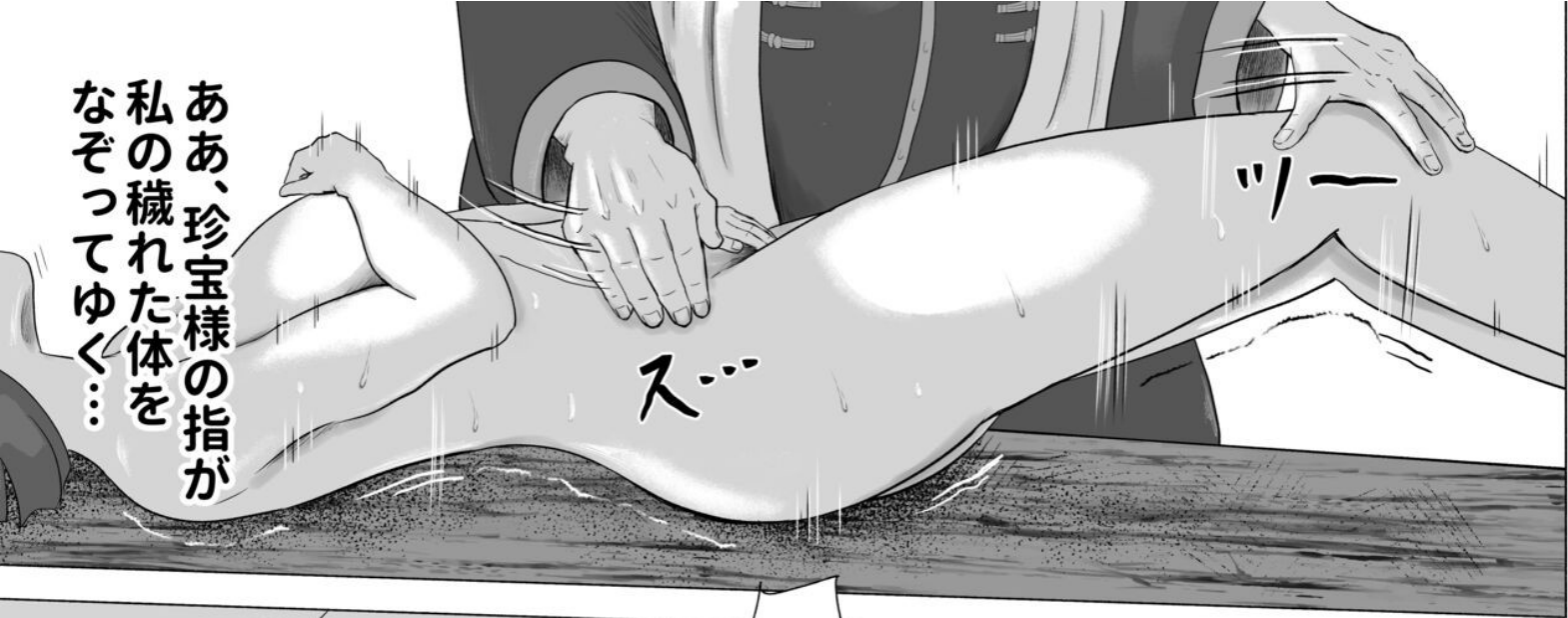
は、はい…。

それではまず、
体中に散らばった穢れを
局部へと祓い出す為の
霊的触診を行います。

モッ

モッ

さすが珍宝様だわ…。
そんなすごい方がこんな私の為に…。



ああ、珍宝様の指が私の穢れた体をなぞってゆく…



いや、なんで？私、声が…

ううっ!!

サワ…

ツツツ…

ビッ



フッフッ

あああっ！

サワ…

は、はい！

貴方は体の力を抜いて私に身を任せるだけでよいのです。

構いませんよ、体の中の穢れが私の靈気を感じて、のたうち回っている証拠です。

はあ、はあ…いや、私まるで
感じてみたい…!!

こんな徳の高い方が私みたいな
人間の為に必死になってくれて
いるのに…。私ったらそれに感じ
てしまってるなんて…。

ハイッ

ハイッ

どうですか？穢れが
流れるのを感じますか？

はああうん！

は、はいっ！

スルルル…

だいぶ流れてきましたね。
それでは次は…

流れ損ねて皮膚の表面へと
浮き上がってきた穢れを、
この聖なる舌で舐ってゆきます。

ガッ

グッ



びびっ!!

ブー



スッパッロロ

うううううん!

ああ、そんな…こんな私の穢れを神聖な
珍宝様のお口で舐め取ってくださるなんて!!
ああ、恥ずかしい…!!
はああ、申し訳ないです!!



びびっ

んんん

さあ、順調ですよ、
次は局部に集まった穢れを
吸い上げていきますよ。

はい、
お願いします。

わっ!!

ああああ、珍宝様の
清らかな舌が…

ハッ

ハッ

私の穢れた口の中に…

クッ
ハッ

レロ
ハッ

ん？

クッ
ハッ

あああ！私の汚い唾液を
飲み干してらっしゃる…！！

ごめねねね！！

モグ



…さあ、代わりに私の聖なる唾液を体内に流し込むのです。

は、はい。



これが珍宝様の聖なる唾液…
ああ、私の中に流れ込んでゆく！

はう、はうん、くへ、くへ！！



ト！！

グググ！！



あああ、全身の熱さがものすごい…！

ふうむ、いいでしょう！
次は胸の局部から
穢れを抜き去ります！！



あああ!!

はむん!



穢れめっ!
出てゆくがよい!
そらっ! これでもか!

ゴッ クッ



あああんっ!
だ、だめです
珍宝様!!

沢山の男に弄ばれた私の穢れた乳房を、
珍宝様が清めてくださるなんて...

グニ



え?...私...
いっちゃったの?





ポロリ...

恥ずかしがる事はありません。構わないのですよ...。それは大きな穢れが今まさに一つ払われた証拠なのです。

私に全てをお任せなさい。



クッスッ...

こんな聖なる儀式の最中に、なんてだらしない女なの...

自分自分で嫌になる...



はい!!

では次はココですね...

.....そ、そうだったんだ! またいつもみたいに自分を責めてた。珍宝様はこんなに必死にがんばってくださってるのに、私もしっかりがんばらないと!



力をお抜きなさい。

カッ



ああ！私の穢れたアソコを
珍宝様に見られてる！

ううむ、凄まじい穢れが
凝り固まっていますね。
取り被ってみせましょう！

ウウウッ

ハッ



その調子ですよ！
さあもっと穢れを
吐き出しなさい！！

じゅぶ じゅぶ じゅぶ

ああ、恥ずかしくて死にそうー！
自分で分かるくらい私のアッコから
薄汚い汁が沢山流れ出してる！！

はぁいいい！
あうん！はうん！！

ググググ

グググ

ググ

ググ

ググ

もう、だめえ〜！

あああああ〜！！



あああ、珍宝様が私の汚い汁塗れに…。

よく頑張りましたね、薄子さん…。しかし、これだけでは完璧ではないのです。

ええっ!?

穢れを祓って今貴方はフラットな状態になった…。ここから更に、貴方に幸せを呼び込む為には聖なる力を宿さねばなりません…。

ああ、そうか、不幸を呼び寄せる力があるのなら、それとは逆に幸福を呼び寄せる力もあるんだ…。

…幸せに
…なりたい!

まだ頑張れますね？

薄子さん？

はい、私、頑張ります！

よろしい、では…

これからは私の
全身全霊を用いて、

貴方に聖なる力を
注ぎ込みます…

ぬき

ぬき

ああ、珍宝様が
生まれたままのお姿に…

ズリッ

ああ！珍宝様の
アソコが露わに…

なんて力強くて
清らかなの…
まるで後光さえ
感じるような…

この聖根せいこんを通じて！！

せいこん

カー

カー

ズリッ

ズリッ



そうです、パツクリと
お口を開くのです。





ああ、私のロ一杯に
珍宝様の清らかな
聖根が...



なんて熱くて
たくましいの……!

そう、いいですよ！

頑張りなさい！
薄子さん！！

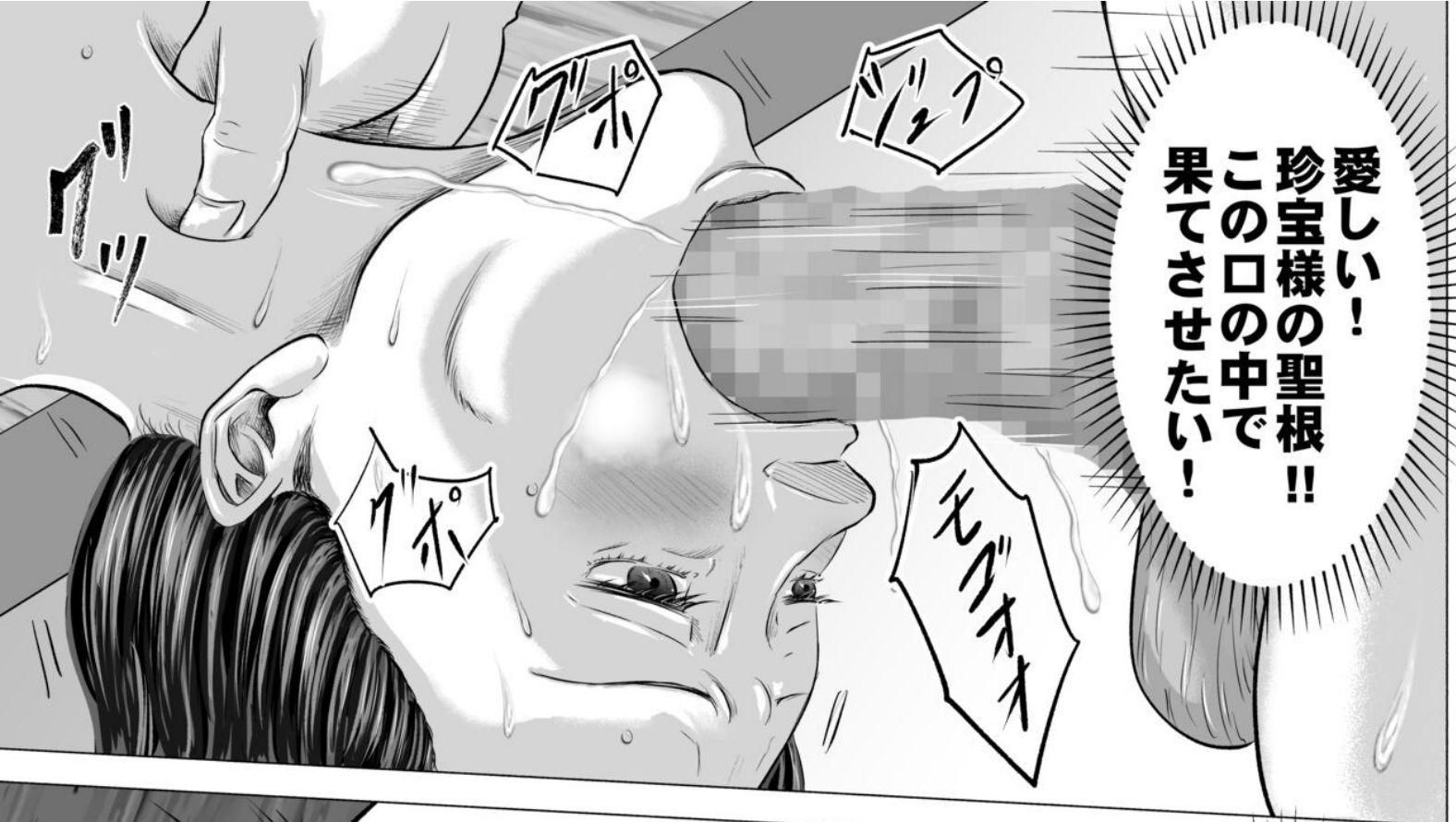
ゴブツ！！

グググ

祓い給え！！

清め給え！！





愛しい！
珍宝様の聖根！！
この口の中で
果てさせたい！



穢れたアソコが
燃えるように熱い！！

熱い！
私の穢れた…

むむっ！

さつき被ったばかり
なのにもう乳房に
穢れが溜まっていて
この忌々しい穢れめっ！

んん

んん

ぐ

ぐぐ

よほどこの乳房が
強めに入ったとみえる…。

ぐぐ





もうすぐです!
全てを受け止めなさい!
行きますよ薄子さん!!

はひい、
頑張りまふう!



出ますよ!
聖なる液がっ!!



せいや〜!!



ああああ！
珍宝様の聖なる体液が
私の内臓の中に…

なんていう幸福感！
心の底から清められて
いるよう…！！

キ
エ

ふう…、ようやくこれで準備は整いました。

襦ぎの仕上げに入りますよ…。

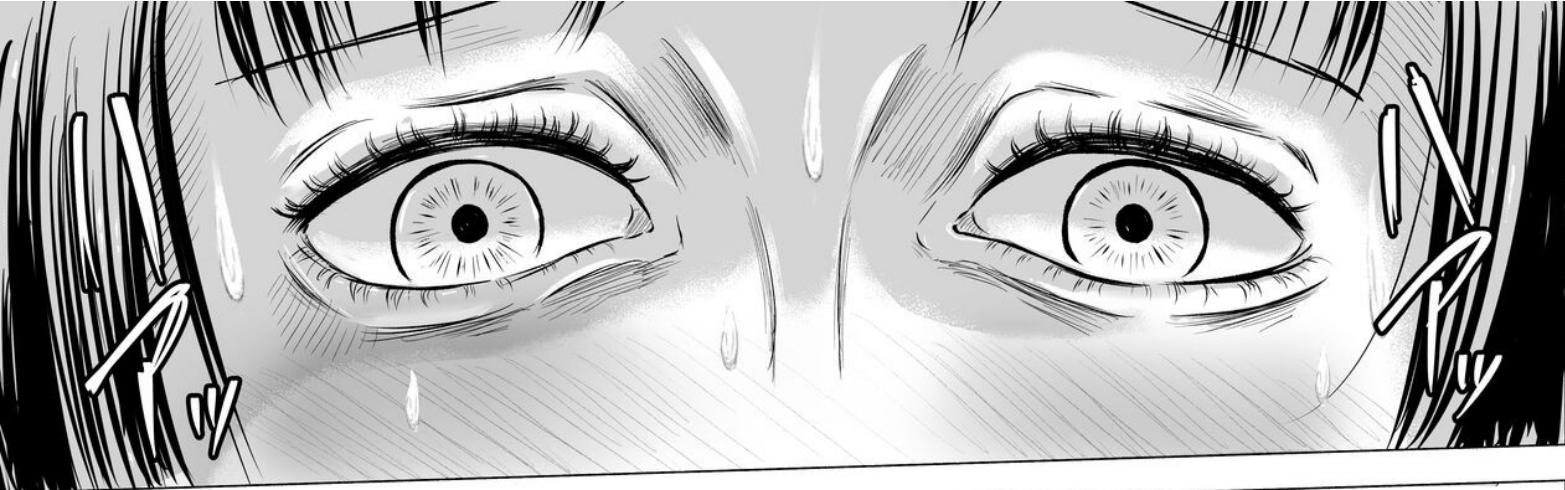


さあ、残り汁も綺麗におしゃぶりなさい。

そしてその穢れた股間を押し広げて、この清らかな聖根をおねだりするのです…

神に愛を請うが如く！





はあ、はあ……ち、珍宝様、
どうかこの穢れた女の
穢れた……マ〇コに……

その尊い聖根を、ね……
ねじ込んでくださいませ！



私ったらなんて卑猥な言葉を…

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

でももう止められない、
体中が疼いて破裂しそう！

ズルン

！！



ひびくもももも!!!

ひびくもももも!!!

は、はい！珍宝様く!!

よくできました！
さあ、ここからは
激しいですよ!!

これまでの貴方の罪を認め生まれ変わるのです！

どんな激しい叱咤も神の試練として耐え、
神の愛を獲得するのです！いきますよ！



熱い！
アソコが熱い！

珍宝様の聖根が
内臓を押し上げて
体いっぱい！

はひいい！！

どうした！
ゆるんできたぞ！

何人の男のちんこを
啜え込んできた？
このヤリマンが！

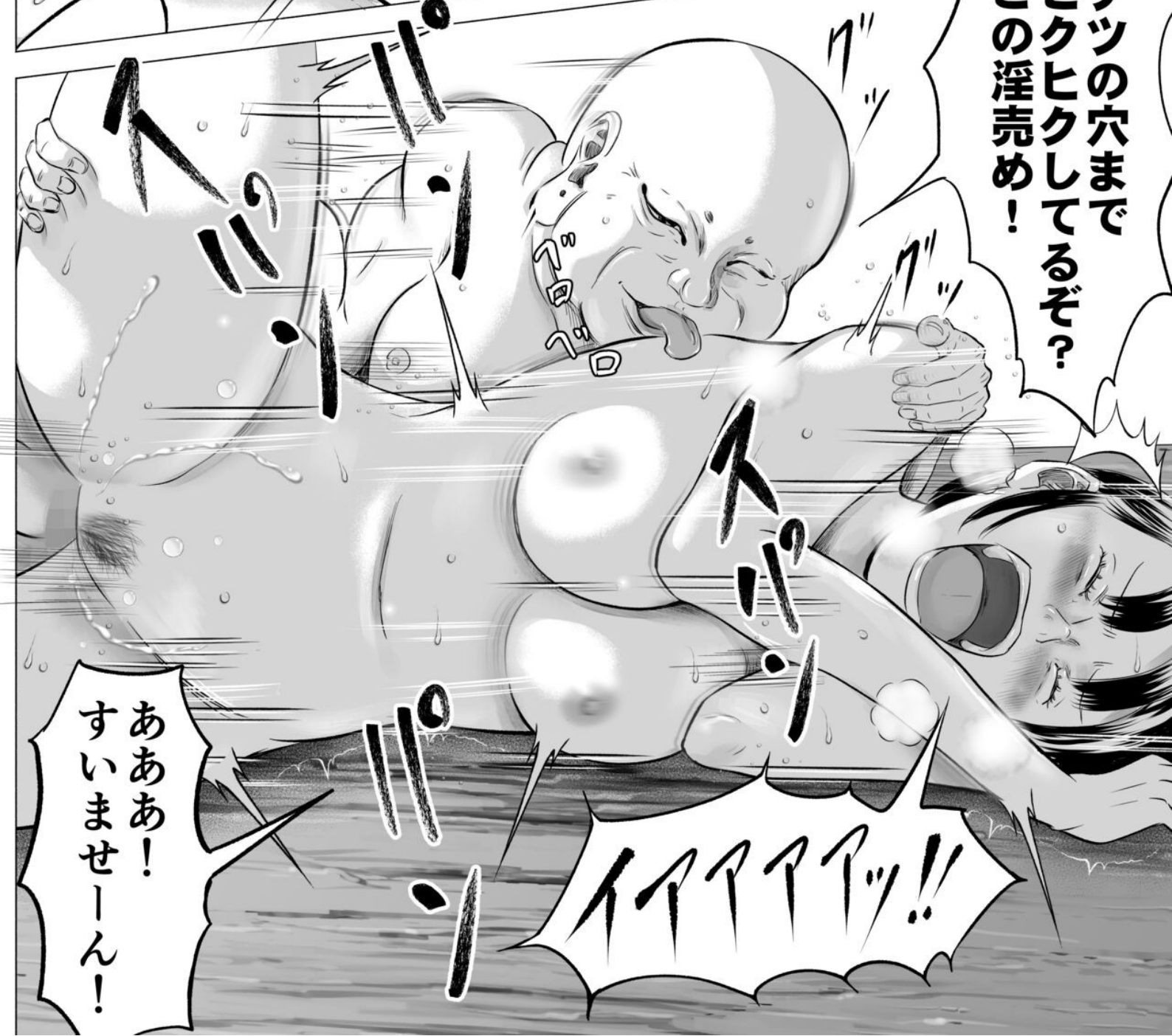
うろうろ！
申し訳ありませんでしたく！！



アッ
アッ

アッ
アッ
アッ!!

ケツの穴まで
ヒクヒクしてるんや?
この淫売め!



アッ
アッ
アッ!!

あああ!
すいませーん!



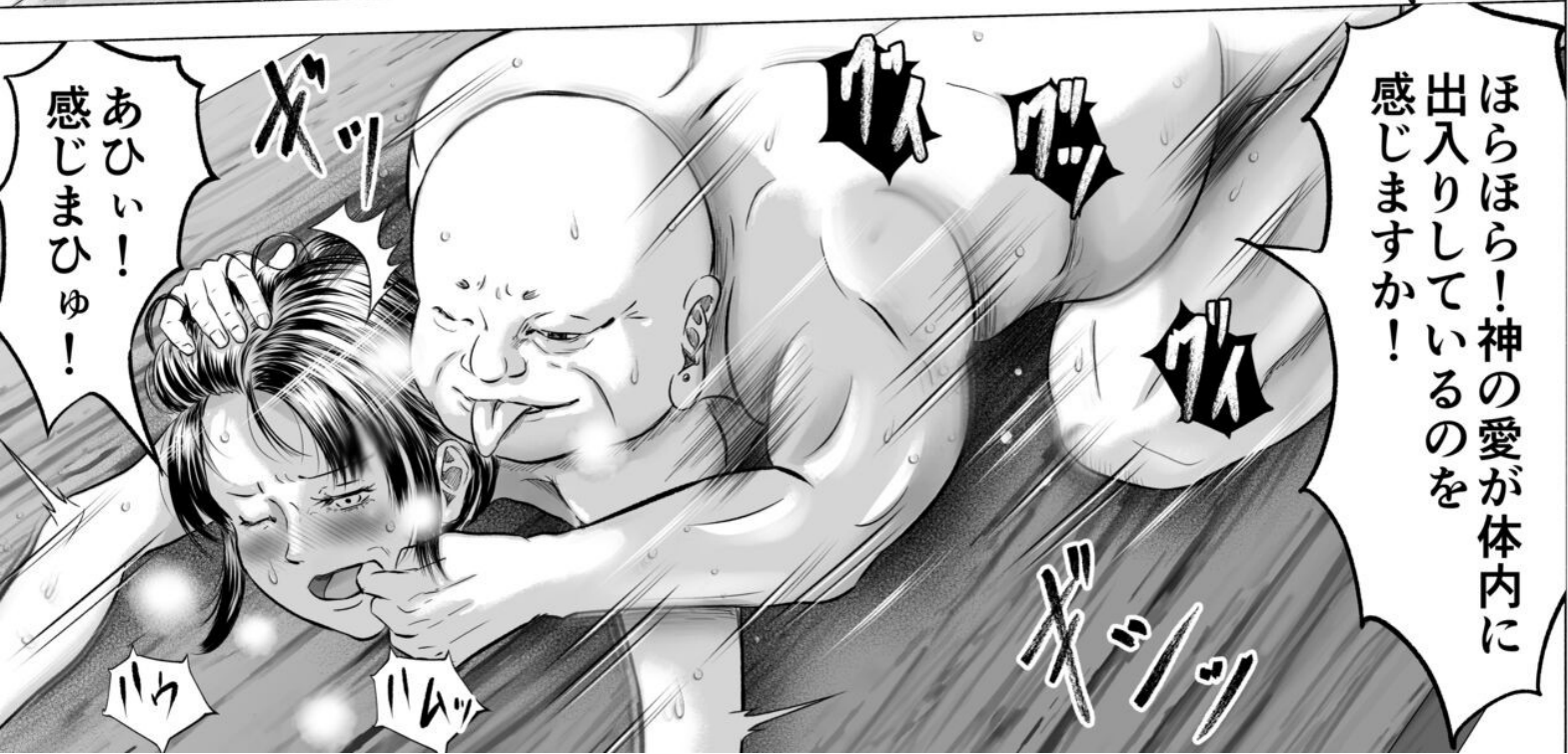
天高く尻を突き上げなさい!

はうっ、
はうん!

まだまだ高く!
懺悔が足りませんよ!



はあ、はあ、なんて
激しい責め苦なの!



ほらほら! 神の愛が体内に
出入りしているのを
感じますか!

あひい!
感じまひゆ!

さあ、お口がお留守
ですよ薄子さん！

モコゴゴオオ

甘えてばかりいないで
自ら神にご奉仕なさい！

は、はひい！

ツボッ

ヒッ

ツボッ
ツボッ
ツボッ

ツボッ
ツボッ
ツボッ

さあどうぞだ！
聖根おちんぽの味は！

おいひいです！
ありがたいです！！

しっかりシヤブれよ！
このロオナホが！

ググググ...

んん！

珍宝様のおちんぽ
すごく硬くなってる！



よっと!

あ!!



さあ薄子さん、満足しててはいけませんよ!

!!

ガ



自分で聖根を挿入してみなさい!

ドクッ

!!

さあ! 穢れた股ぐらを開いて

はっ！珍宝様がこんなにも
疲労してらっしやる！



私ったら全てを
珍宝様任せにして…。



幸せは自分で掴み取らなきゃ…！！





いい腰使いでしたよ…。聖根を
通じて神様もお喜びでしょう。

は、はい！

ですが…

これからです！

セ
エ

グ
グ

グ
グ

ブル

ブル

ブル

はいい…、珍宝様の、
野太い聖根オチンポの

聖なるザーメンを、
このメス豚の穢れた…

マ…マ〇コの中に、
溢れる程に注ぎ込んで
欲しいですう~~~~!!!

よ~~~~し
よかろう!!

セエツ

ハア

A-!!

いしくん
雄根!



神を
求めよ!

ふむうう!!



神を

受け入れよ!!!





幸せがすぐそこに…

も、もう少しで…

ポクンッ



ち、珍宝様…、
この穢れたメス豚の
薄汚いお尻…、
け、ケツの穴に…

うう…

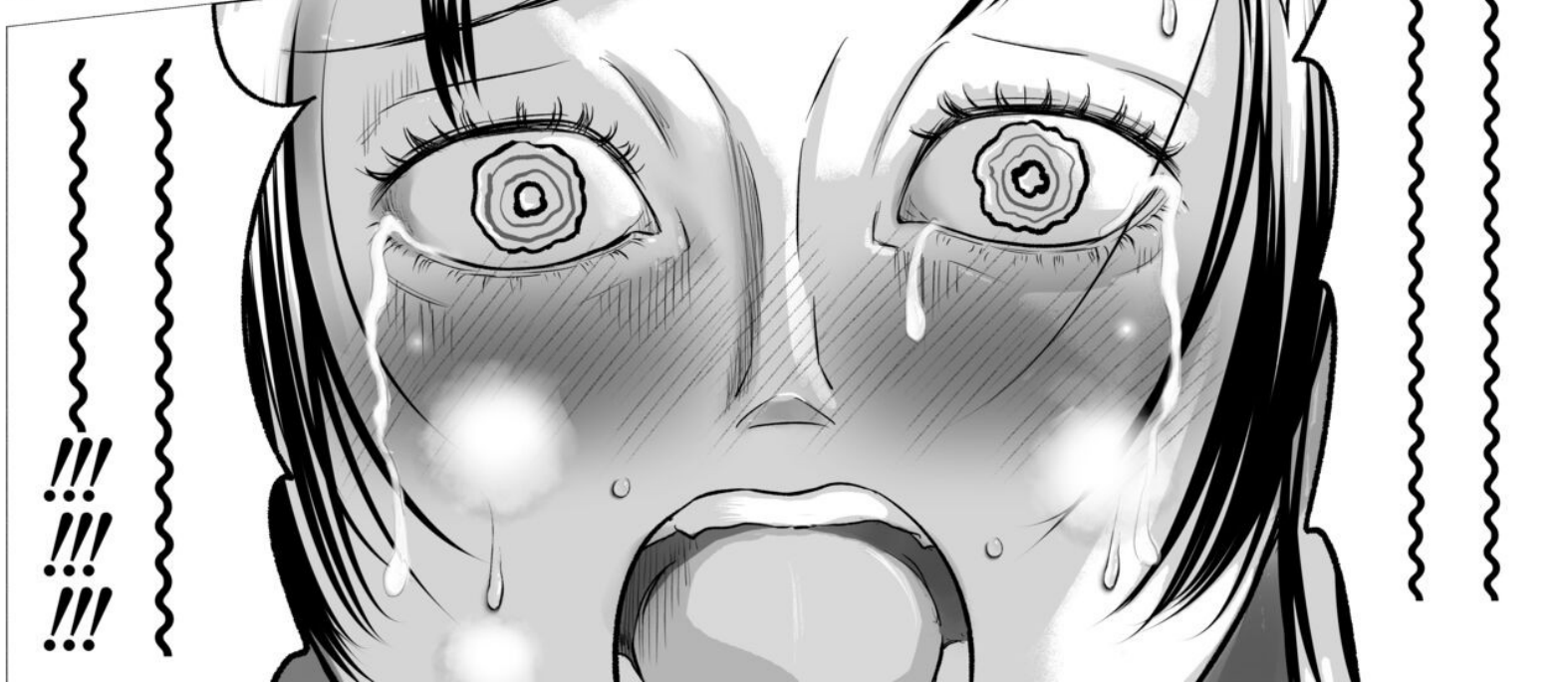
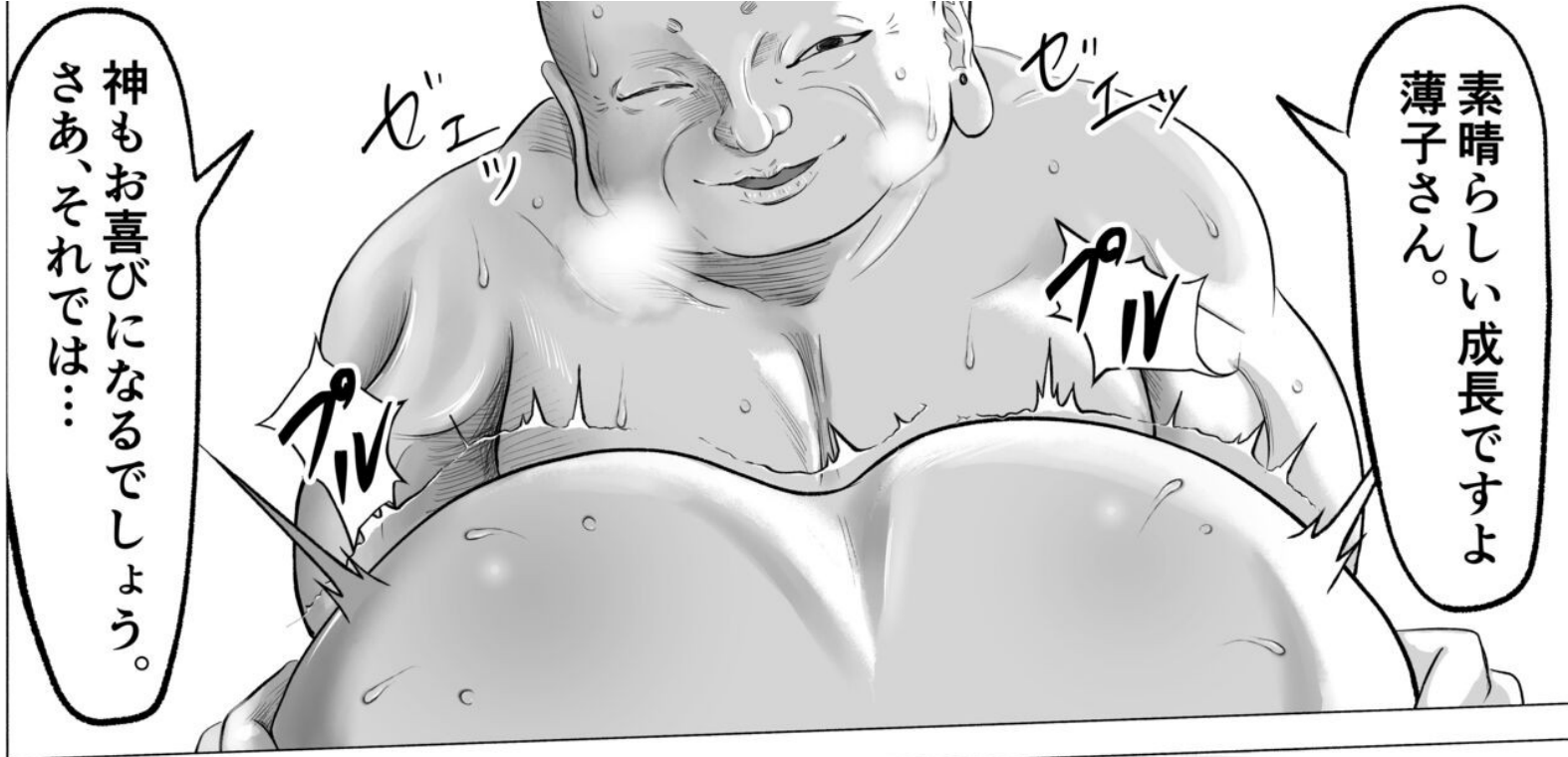
聖根お、おちんぽを…
深く深く突き刺して
ください…!!

フル

ダラ

フルッ

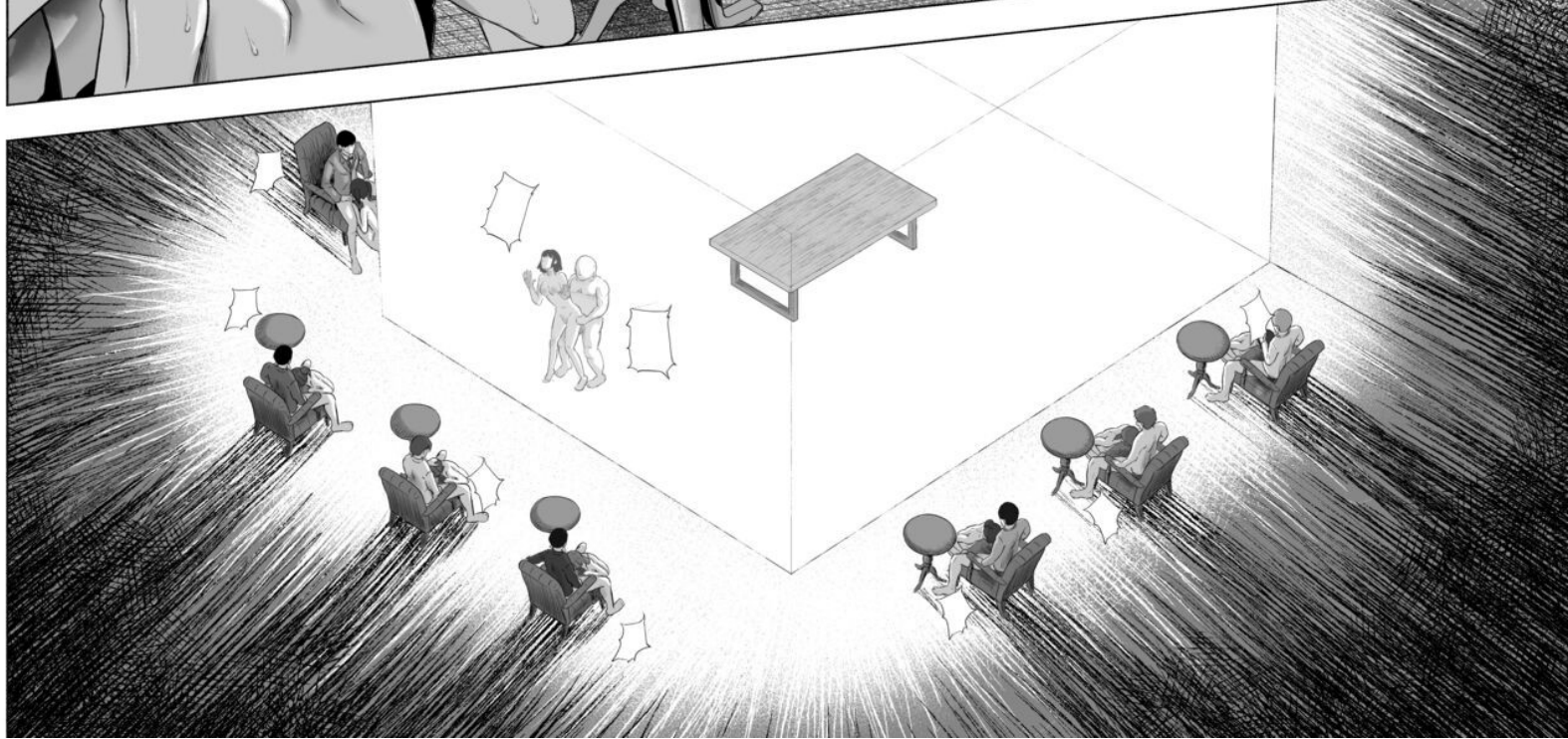
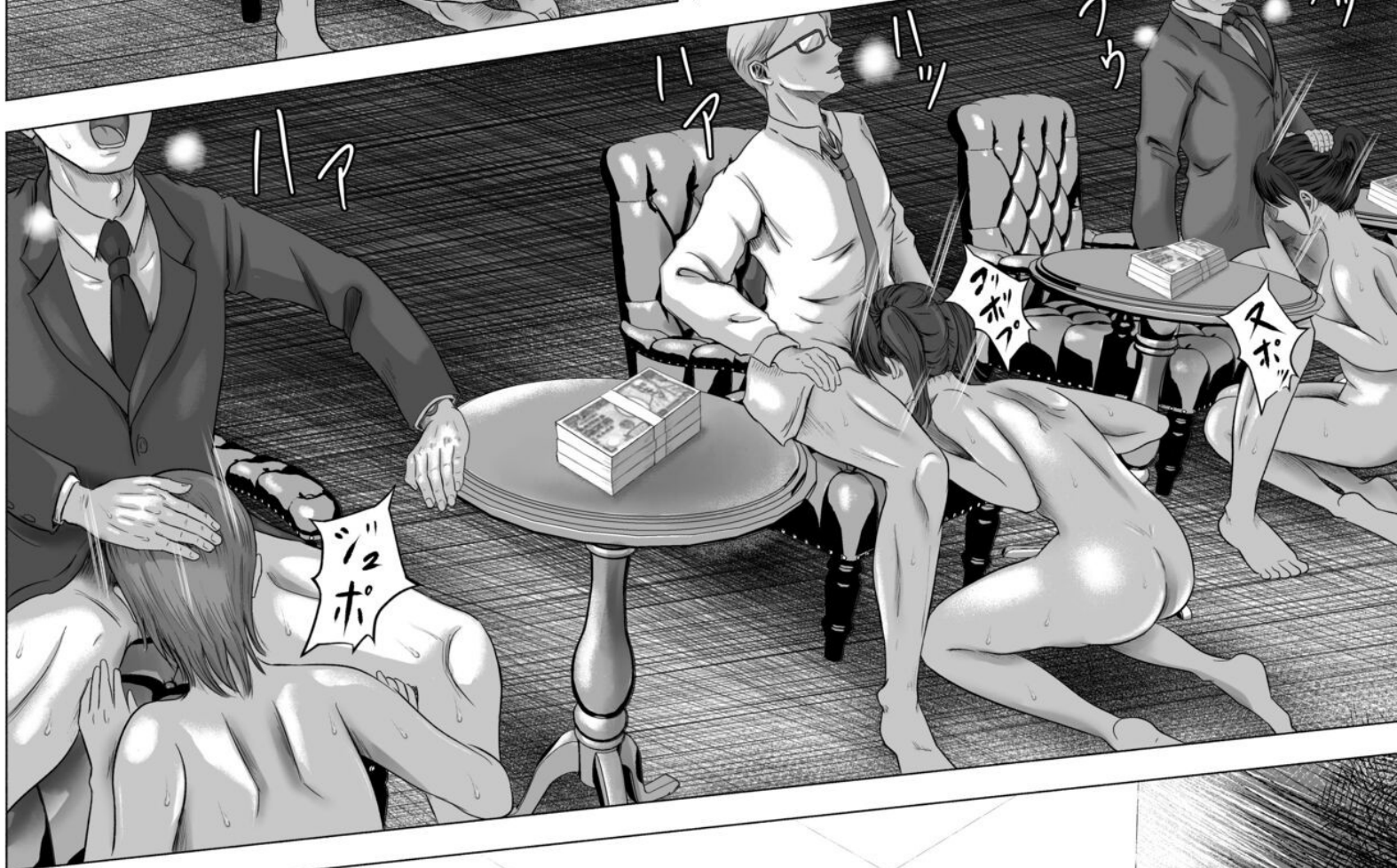
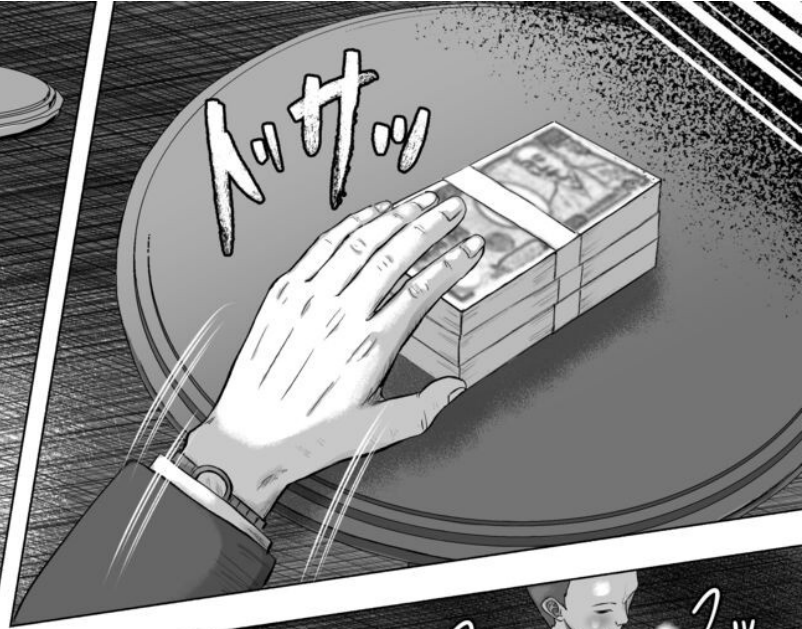
は。あ。あ。



あああああ〜!!

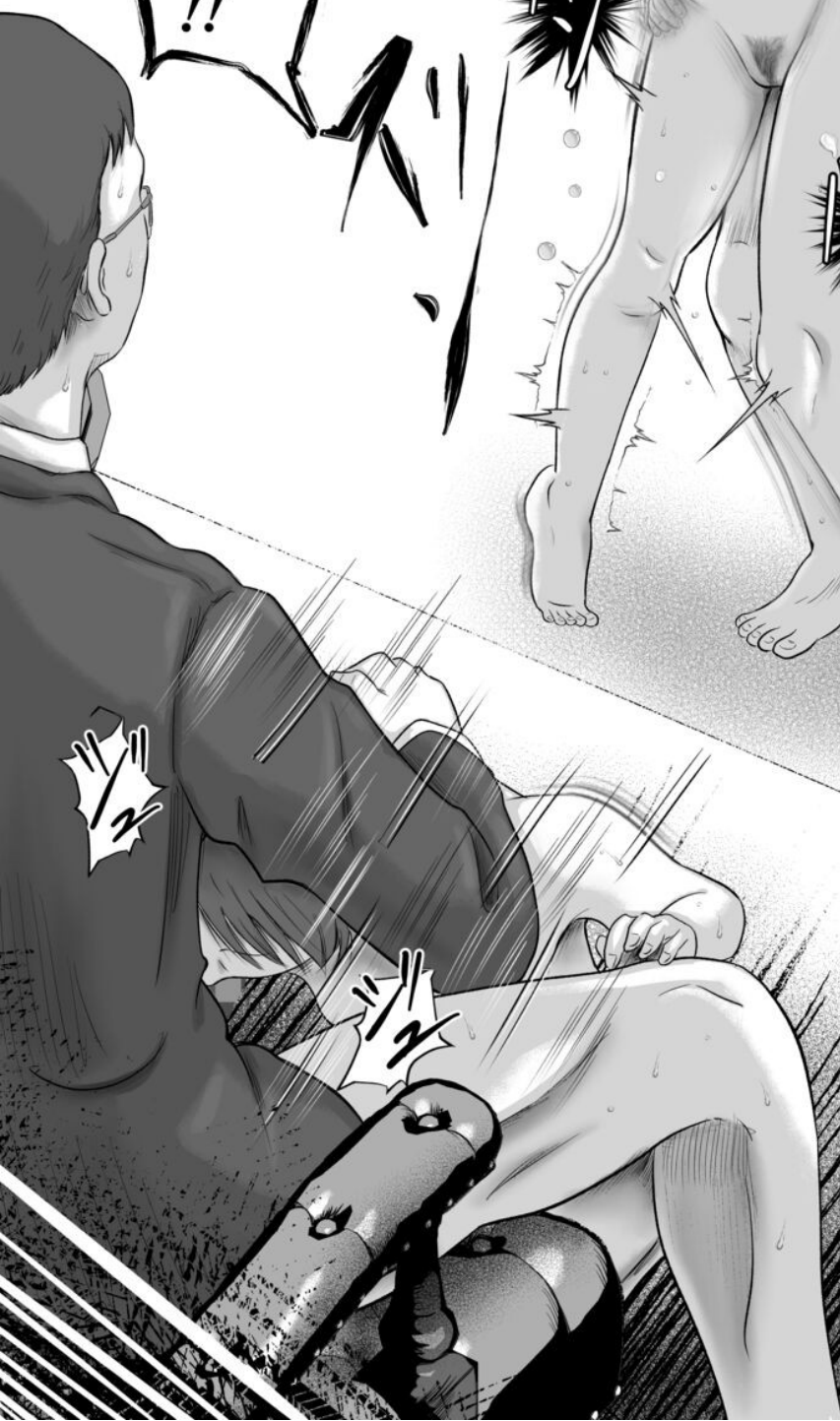
珍宝様〜!!





ギチギチに締め付けてますよ
薄子さん!!悪い子だ!

はああん珍宝様!
お尻の穴こわれちゃう!!



数日後…





薄子と別れたら毎日
中出しさせてあげる。



いやん！ゆう君！

もっと！もっと奥まで！



はあああ！
まさしさん！
いっちらういっちらう！

今まで薄子さんの男を
全て寝取っては操り、
彼女を傷付けてきた…



まさしさん、会社の経営に
困っているのよね？
薄子のこと痛めつけて
くれたら相談にのってあげる…



まあわたしは信者も
増えて感謝してはいますが…

うんん!!



ずっと気に食わないの。
何の努力もせず
に周りから
ちやほや可愛がられて…

そうね…

自業自得って
やつよ。

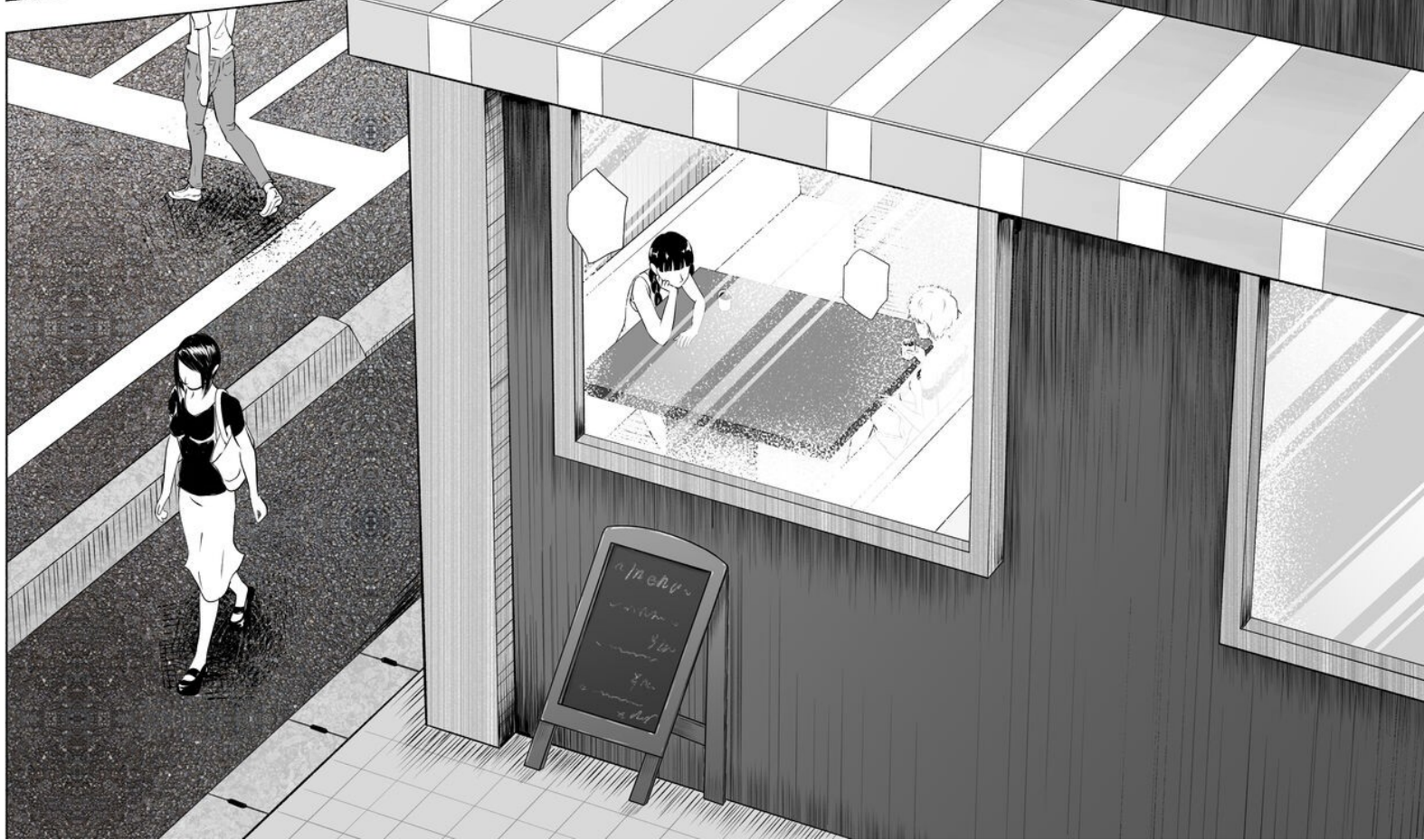
単純に
あの子の事が…

あんな女の事より早く珍宝様！
あのお茶で楽しみましょ！！

ふふふっ！ユカリさんは本当に
あのお茶が好きですね！



一年後…





大変だったね、
知佳ちゃん。

うんうん。



…って感じでき、

私ってば
ダメダメ
なんだ…。



うん…、っていうかね、
なんか久しぶりだからか…

すごい感じ
変わったよね？

何かあったの？

うん？

薄子ちゃん？

…そうね…、
強いて言うなら…。

宗教団体
～完～



宗教団体

～不幸の絡み付く女～

著者／ラケモ

発行日／2023年6月25日

©2023 Rakemo All rights reserved.

当作品を、権利者の許可なく複製、転用、販売などの二次利用することを固く禁じます。

感謝

!

ご愛読



Rukano